グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン
サステナビリティ・リンク・ローン関係のポイント

環境省

- 「サステナビリティ・リンク・ローン」（SLL）とは、借り手のサステナビリティ経営の高度化を支援するため、野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(SPTs)の達成を貸出条件等と連動することで奨励する融資。
- 国際的に共通の仕組みはないが、LMA「サステナビリティ・リンク・ローン原則」（SLLP）がもっとも広く認知されている。

①野心的かつ有意義なSPTsの設定

✓ SPTsは借り手のビジネスにおけるマテリアリティに関連した野心的かつ有意義なもので、かつ、定量的なものを事前に設定しなければならない。

✓ 野心的かつ有意義なものとは、
- 借り手の企業活動が環境や社会にもたらすポジティブ及びネガティブなインパクトを包括的に捉えている。
- サステナビリティに関連するポジティブなインパクトが大きい、又はネガティブなインパクトを大きく改善させるものである。
- 達成困難度を踏まえて個別に判断されるものである。

②SPTsの達成と融資条件等の連動によるインセンティブ効果

✓ SPTsの達成状況と融資条件（金利等の融資条件）等との連動により、借り手は、借入期間にわたりサステナビリティ特性を向上させるように動機付けられる。

✓ 金利等の融資条件の他に、SPTs達成時に貸し手のHP等への掲載、外部機関からの意見書の発行等が考えられる。

③資金使途が特定のプロジェクトに限定されない

✓ グリーンローンとは異なり、調達資金の使途は、特定のプロジェクトに限定されない。

サステナビリティ・リンク・ローン関係のガイドラインの概要

環境省

【サステナビリティ・リンク・ローン（SLL）に期待される事項】

①戦略とSPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）の関係

●借り手は、自らの包括的なサステナビリティ目標と、その目標がSPTsと整合することを貸し手に明確に伝えるべき。
●これらの情報を、持続可能性に関する包括的な目標、戦略、政策等の文脈の中に位置付けることが望ましい。

②SPTsの設定とサステナビリティの改善度合の測定

●SPTsは、借り手のビジネスにおけるマテリアリティ（重要課題）に関連した野心的かつ有意義なもので、定量的なものを設定しなければならない。
●SLLは、借り手のサステナビリティの向上を目指すものであり、事前に設定したSPTsのベンチマークに対する借り手のパフォーマンスと貸出条件等を連動させるものである。
●SPTsは客観性が重要であり、その内容の適切性について、借り手は第三者の意見を求めることが望ましい。
●SPTsの具体的な例

温室効果ガス排出 ・生産・製造サイクルにおける温室効果ガス排出量の削減　等	再生可能エネルギー ・再生可能エネルギーの生産量もしくは、使用量の増加	水消費 ・水消費量の削減、水のリサイクル率の改善
持続可能な調達 ・認証された持続可能な原材料・供給品の増加	サーキュラーエコノミー ・天然資源投入量の増減、廃棄物処理におけるリサイクル率	グローバルESG評価 ・ESG格付の改善、ESG認証の達成

③レポーティング

●借り手は、可能な場合には外部機関によるESG格付等のSPTsの達成状況に関する最新の情報を、少なくとも１年に１回以上、貸し手に報告すべき。

●SLLによる資金調達を社会にアピールする場合、上記の情報を一般に開示すべき。

※借り手が中小企業であり一般開示が困難な場合には、開示内容を簡素化できる。

④レビュー

●外部レビュー
借り手が、SLLのフレームワークについて、客観的評価が必要と判断する場合には、外部機関によるレビューを活用することが望ましい。借り手が外部レビューを受けた場合には、結果に係る文書等について、貸し手に報告すべき。

●内部レビュー
借り手による内部レビューを行うこととする場合には、貸し手に対し事前に、その旨と自己プロセスを策定した上で、内部的専門性を、十分な透明性をもって説明すべき。適切な場合には、借り手は、内部レビューを行う旨と、SPTsの概要や内部的専門性の内容を一般に開示すべき。SLLによる資金調達を社会にアピールする場合、自己評価の結果について、一般に開示することが望ましい。

※貸し手はレポーティングや外部レビュー後、SPTsの達成状況を評価する。

【貸し手に望まれる事項】

●何が野心的かつ有意義なSPTsに当たるかについての最終的な判断は、貸し手の判断に委ねられるため、貸し手の役割が重要。
●貸し手がインパクトの大きさの見極めなどのサステナビリティ経営に関する知見を蓄積するなど、適切な判断をし得るだけの実力を備えることが必要。
●これは、ESG融資を行う金融機関として、社会的支持を獲得する上で必要。